

蛋白質構造研究から見えてくる ゲノム安定維持機構のすがた

開催日：2026年3月5日（木）

会場：大阪大学吹田キャンパス 大阪大学蛋白質研究所1階講堂

13:25-13:30 開会挨拶

Session 1

13:30-14:00 野澤 佳世（東京科学大学 生命理工学院）：Zoom講演

RNAポリメラーゼII転写を制御するクロマチン構造の構造・機能解析

14:00-14:30 松本 翔太（東京大学 定量生命科学研究所）

ChIP-CryoEM法による細胞内ヌクレオチド除去修復機構の解明

coffee break

Session 2

14:45-15:15 山元 淳平（大阪大学大学院 基礎工学研究科）

塩基除去修復を開始するDNAグリコシラーゼによる損傷認識機構の再考

15:15-15:45 古郡 麻子（大阪大学 蛋白質研究所）

DNA二本鎖切断修復で働くMRN複合体のタンパク質構造と機能

coffee break

Session 3

16:00-16:30 黒川 裕美子（国立遺伝学研究所）

高速AFMによるコヒーシン-DNA相互作用の構造・動態解析

16:30-17:00 Chew Theng Lim (The Francis Crick Institute)：Zoom講演

CDK phosphorylation of ORC prevents re-replication by enforcing origin architecture requirements for MCM loading in yeast.

17:00-17:05 閉会挨拶

アクセス：阪急北千里駅から徒歩約15分、または 地下鉄御堂筋線(北大阪急行) 千里中央駅から阪急バス「小野原東行き」に乗車、阪大口にて下車し徒歩約5分

[主催] 大阪大学蛋白質研究所

[世話人] 古郡麻子（大阪大学）、黒川裕美子（遺伝研）

URL: <https://www.protein.osaka-u.ac.jp/seminar/>

[連絡先] 古郡麻子（大阪大学） E-mail: a.furukohri@protein.osaka-u.ac.jp

参加費無料・事前登録不要

IPR seminar: Understanding Genome Maintenance
Mechanisms through Protein Structure and Dynamics